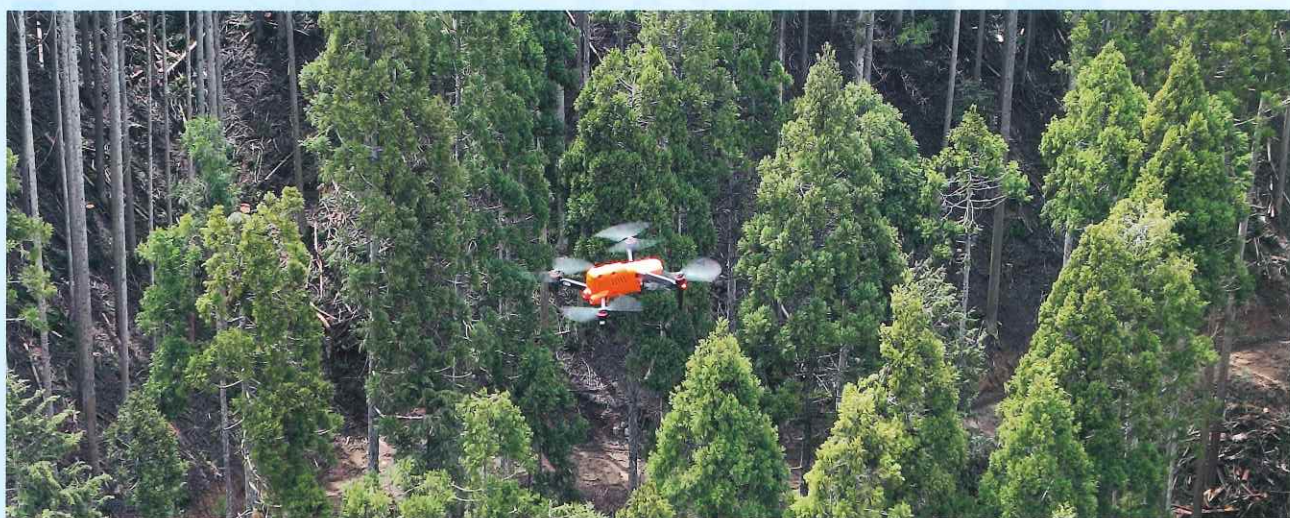


2024 4月

Vol.41

京丹波森林組合 も り 森林の便り

第69回通常総代会が開催されました。



(丹波地区安井地内 ドローンによる間伐実施状況の確認)



発行:京丹波森林組合

〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄木下9番地

TEL. 0771-84-0086 FAX. 0771-84-1018 / 企画・編集:総務課





総代会が開催されました

令和六年度 第六十九回通常総代会の開催

令和六年三月二日・午後一時三十分より、和知ふれあいセンターにおいて、第六十九回京丹波森林組合通常総代会が昨年引き続き、京都府南丹広域振興局長様をはじめ来賓の皆さま並びに本人出席七十九名、代理出席五名、書面出席八十二名、計百六十六名の総代の皆様にご出席いただき、開催することができました。

はじめに、主催者を代表し樋口組合長より、本総代会開催のお礼と本会提出議案へのご審議をお願いする旨述べました。議長には、瑞穂地区橋爪の岩岡始様が選出され、総代の皆様には第一号議案から第九号議案の九議案につき慎重にご審議いただき、すべての議案が原案通り承認されました。

ご承認いただきました各議案は次のとおりです。

第1号議案

令和5年度 事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書承認について

第2号議案

令和6年度 事業計画書承認について

第3号議案

令和6年度 取扱手数料、証明手数料徴収額及び徴収率決定について

1. 取扱手数料 資金取扱手数料 貸付元金に対し …… 年 0.50%
 - 森林整備補助金取扱手数料 補助金の …… 10.00%
 - 受託販売林産手数料 売上価格の …… 10.00%以内
 - 受託造成事業手数料 事業費の …… 15.00%以内



令和6年度 第69回通常

- 2. 一般証明、公簿閲覧料 …………… 1件 300円
- 但し、立木証明は一筆を増すごとに …………… 100円
- 3. 林地評価手数料

評価額	手数料率	最高限度
100万円 未満	1,000分の10	8,000円
200万円	〃	12,000円
500万円	〃	25,000円
1,000万円	〃	40,000円
2,000万円	〃	60,000円
5,000万円	〃	100,000円
5,000万円 以上	2	

右記手数料以外に実費は徴収する。

第4号議案

- 4. 林地供給手数料 売主買主によりそれぞれ売買成立価格の …… 3.00%以内
- 5. 生産森林組合の事務委託料 …………… 年 30,000円以内
- 令和6年度 借入金最高限度額決定について …………… 8,000万円以内

第5号議案

但し、制度資金を除く
余裕金預入先金融機関決定について

第6号議案

京都農業協同組合、京都銀行、京都北都信用金庫

第7号議案

令和6年度 理事14名の報酬額決定について 一金 …… 950万円以内
令和6年度 監事3名の報酬額決定について 一金 …… 50万円以内

第8号議案

一組合員に対する貸付金額の最高限度額決定について

第9号議案

一組合員に対し払込み出資金の20倍以内で200万円以内とする
定款の一部改正について

主催者あいさつ



京丹波森林組合

代表理事組合長 樋口 義昭

本日、京丹波森林組合第69回通常総代会を開催いたしましたところ、京都府南丹広域振興局 局長 古澤明様、京丹波町長 畠中源一様、京丹波町議会議長 梅原好範様、京都府森林組合連合会 代表理事会長 青合幹夫様、その他多数のご来賓の皆様をお迎えして、開催できますことを心より感謝申し上げます。

平素、来賓の皆様には格別のご指導・ご支援を賜っておりますことを、この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

総代の皆様にも、年度末となり区内の事業や農作業の準備等ご多用のところ、このように多くの総代様がお繰り合わせご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

新たな年を迎え家族や親戚が集まり

お祝いしている元日の午後4時過ぎに起きました、令和6年能登半島地震により多くの方がお亡くなりになられました。

改めてお悔やみ申し上げますと共に、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興そして被災されました皆様の生活が、早く平穏に復する事を心からお祈り申し上げます。

さて、昨年も地球温暖化による影響と思われる大規模な森林火災の発生や、集中的な豪雨が世界各国で発生しており、7月・8月には九州地方や東北地方、そして京都府の中丹地域でも大雨による土砂崩れが発生し激甚災害にも指定され、今も復旧事業が進められていきます。

京丹波町でも一昨年の7月には時間当たり約100mmの猛烈な雨が降り、

家屋の浸水や林道など森林にも大きな被害の発生が見られました。

こうした森林災害の防止また地球温暖化の防止を、安定した地方財源の下で図ることを目的としました、森林環境税・森林環境譲与税が令和元年度に創設されました。

京丹波町に於きましては、積極的にこの森林環境譲与税を活用され当森林組合とも連携いただき、町内の未整備森林への間伐などの整備の着手に向け森林の境界確定等を進められ、令和5年度も行ったところであります。

また町内で豪雪・豪雨・台風などによる災害の発生時に於いては、当森林組合が持つ機能をフルに活かした応援隊となれるよう、昨年の6月に京丹波町と『災害発生時における応急対策に関する協定』を結び、組合員様をはじめ町民の皆様が安全で安心して生活し

ていただけよう、災害発生時に於いての体制整備を図る事が出来ました。

新型コロナウイルス感染症に於きましては、昨年の5月に5類相当に変更もされ日常生活に明るい兆しとなりましたが、木材価格に於きましてはウッドショック時の価格には及ばず、厳しい状況での販売となりました。そして長期化するロシアのウクライナ侵攻等の影響からの燃料価格の高騰は、高性能林業機械が日々稼働する搬出作業現場や皆伐現場に於いては、大きな経費の負担となりました。

しかし、現場で作業を行う若き作業者と職員の安全を確保する事が第一に優先する事であり、そして組合員の皆様から委託された搬出間伐等の森林整備にお応えするため、こうした状況に於いても機械をフル稼働させ効率的な作業方法に取り組み、『京丹波森林組合第2次中期計画』に基づく令和5年度の事業を進める事が出来ました。

特に令和5年度は町内の集約化した森林経営計画認定団地より、搬出間伐により市場等へ出荷した間伐材の量が

初めて11,000^m余りとなり、また皆伐現場からも2,700^mを搬出することが出来ました。

このように出材量が増えましたことは林地の条件もありますが、やはり集約化する森林の対象となる森林所有者の皆様が、一同に集約化施策に於いてお取り組み頂いた事が、こうした厳しい状況の中でもコストの軽減に繋がり、30数名の森林所有者の方へ3,700万円余りを利益還元することが出来ました。

私たち川上から搬出する材の利用も川中・川下に於いて利用拡大が図れるよう、京都府に於いて昨年の1月に『未来につなぐ京の木府民会議』が設置され、国の『都市の木造化推進法』の規定を受け『京都府産木材の利用の促進に関する基本方針』が改正され、京都府民が一体となり府内産木材の利用の推進が図れることになりました。

組合員の皆様から委託を受け、長年を要し大切に育ててこられた立派な木を取り扱う、私ども森林組合にとりましては追い風が吹き始めたように思っ

ているところでございます。

令和5年度に於きましても、組合員の皆様をはじめ、京都府並びに京丹波町と多くの関係機関の皆様のご指導・ご支援を賜り、昨年の12月末をもち、令和5年度事業を欠損金を出すことなく事業を締めくくる事が出来ました。

そして、この3月に京都府立林業大を卒業します学生の内1名が、4月より当森林組合へ入り、京丹波町の森林で活躍してくれることになりました事もご報告申し上げます、本総代会の提出議案につきまして、ご検討いただきご承認賜りますよう、お願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。本日は、大変お世話になります。がよろしくお願い申し上げます。



報告の概要

貸借対照表

(令和5年12月31日現在)

科目	金額(円)	科目	金額(円)
資産の部		負債の部	
流動資産	371,265,880	流動負債	104,827,671
固定資産	35,525,601	固定負債	47,570,100
小計	406,791,481	小計	152,397,771
		純資産の部	
		出資金	70,643,000
		利益剰余金	183,750,710
		(当期剰余金6,172,004含む)	
資産合計	406,791,481	負債・純資産合計	406,791,481

損益計算書

(令和5年1月1日～12月31日)

科目	金額(円)	一般事業(円)		
		指導	販売	森林整備
I 事業総損益				
事業収益	307,106,207	0	12,330,573	294,775,634
事業費用	149,782,258	6,185,339	0	143,596,919
事業総利益	157,323,949	△ 6,185,339	12,330,573	151,178,715
II 事業損益				
事業管理費	153,690,345	19,979,741	4,610,707	129,099,897
事業利益	3,633,604	△ 26,165,080	7,719,866	22,078,818
III 経常損益				
事業外収益	3,136,524			
事業外費用	0			
事業外損益	3,136,524			
経常利益	6,770,128			
IV 特別損益				
特別利益	8,226,876			
特別損失	7,825,000			
特別損益	401,876			
税引前当期純利益	7,172,004			
法人税等	1,000,000			
当期剰余金	6,172,004			
前期繰越剰余金	4,544,608			
当期末処分剰余金	10,716,612			



令和5年度 決算

令和5年度 剰余金処分量

摘要	小計 (円)	合計 (円)
I 当期末処分剰余金		10,716,612
II 剰余金処分量		6,800,000
法定準備金 (当期剰余金の1/5以上)	3,000,000	
出資配当金		
特別積立金		
施設準備積立金		
退任慰労積立金	800,000	
損失補填積立金	3,000,000	
III 次期繰越剰余金		3,916,612



(提出議案の採択状況)

令和6年度 事業計画

損益計画

(令和6年1月1日～12月31日)

科目	金額(千円)	一般事業(千円)		
		指導	販売	森林整備
I 事業総損益				
事業収益	333,688	0	10,325	323,363
事業費用	169,883	4,808	0	165,075
事業総利益	163,805	△ 4,808	10,325	158,288
II 事業損益				
事業管理費	163,417	21,242	4,901	137,274
事業利益	388	△ 26,050	5,424	21,014
III 経常損益				
事業外収益	820			
事業外費用	300			
事業外損益	520			
経常利益	908			
IV 特別損益				
特別利益	435			
特別損失	0			
特別損益	435			
税引前当期純利益	1,343			
法人税等	500			
当期剰余金	843			
前期繰越剰余金	3,916			
当期末処分剰余金	4,759			



損益及び取扱計画(部門別総損益)

(令和6年1月1日～12月31日)

区分		金額(千円)	損益の算出基礎	
指導部門	収益	0	指導費 間伐推進指導(負担金) 他 情報費 組合便り 他	
	費用	4,808		
	損益	△ 4,808		
販売部門	収益	10,325	素材 11,250m ³ チップ 1,950t	
	費用	0		
	損益	10,325		
森林整備部門	森林整備	収益	189,520	請負森林造成他 78.98ha 受託・間伐手数料 109.46ha 整備機構(3者)下刈他 81.98ha 作業道 10,105m
		費用	106,375	
	利用	収益	116,843	
		費用	43,700	
	購買	収益	17,000	
		費用	15,000	
	金融	収益	0	
		費用	0	
	小計	収益	323,363	
		費用	165,075	
損益	158,288			
総計	収益	333,688	森林土木工事収入 林道維持管理 調査収入 支障木伐採 他 補助金 立木調査 事務委託金収入 緑の担い手育成事業 他 利用雑収入 生森事務委託料 他 職員林産・作業 他	
	費用	169,883		
事業純利益		163,805		

新規採用者のご紹介

新規フォレストキーパー

令和6年4月1日付けで京丹波森林組合のフォレストキーパー（現場技術員）として新規採用となりましたのでご紹介します。



きよはら たいが
清原大河 (21歳)

4月から現場技術員としてお世話になっております清原大河と申します。

林業大学校在学中の京丹波森林組合でのキャプストーン研修の際に、職員・作業員の皆様の意識の高さに感銘を受け志望しました。

自分も技術や知識を身につけ京丹波町の森林をより良くする為、一日でも早く戦力となり、そして皆様から信頼して頂けるよう日々精進してまいりますのでよろしくお願い致します。



新規アルバイト



やすだ ひかり
業務課 保田 日加利

「令和6年3月18日より新規アルバイトとして森林組合業務課配属となりました。まだまだ至らないことばかりですがご迷惑をお掛けしないよう頑張りますのでよろしくお願いします。」

これからも事務所でお会いする機会が多くなります。ご哀願いただきますよう、よろしくお願い致します。



インターンシップ研修生よりお礼の手紙を頂きました

京都府立林業大学校1年生 上田 朔也 君

前略 この度のインターンシップ研修におきましては、お忙しいところ時間を割いていただき、誠にありがとうございました。また、きめ細やかな心配りや御指導をいただき、心より感謝申し上げます。

五日間の研修では、とても様々な事を知ることができました。どの研修内容にもそれぞれの重要性、必要性があることを改めて実感しました。

また、境界明確化や支障木伐採、測量では、境界の有無によって作業が変化してしまうこと、伐採する枝の重みを予想して切ることが近くの建物や自分自身の安全のために必要であること、デジタルカメラの水平を保つために腕だけでなく体全部を使ってバランスをとるといったアドバイスや私に支障木の枝の重みがどちらにあるか聞き、私自身に考えさせることで難しさや、常に考える大切さを教えて頂きました。この研修を通して伐倒作業の技術だけでなく、技術とともに知識や予想をする力を身に付けるなどの課題を見つけることができましたので、上達、習得できるよう努力していきます。

今後は、京丹波森林組合様より御教授いただきました貴重な体験を糧とし、日々精進してまいりたいと存じます。今後とも御指導くださいますようお願い申し上げます。

末筆ながら貴組合の益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。

草々

京都府立林業大学校1年生 杉村 響 君

前略 この度のインターンシップ研修におきましては、お忙しいところ時間を割いていただき、誠にありがとうございました。また、きめ細やかな心配りや御指導をいただき、心より感謝申し上げます。

山の作業は経験が浅く、すぐ休憩をしたり、作業速度が遅かったりなど御迷惑をおかけした点もありましたが、5日間を無事に終えることができましたのは、皆様方の御指導があつてのことだと思っております。重ねてお礼申し上げます。

今後とも御指導くださいますようお願い申し上げます。

末筆ながら貴組合の益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。

草々

..... 運搬用ドローン導入による資材運搬省力化の取組

運搬用ドローンを活用し、獣害防護柵資材や苗木運搬の省力化に取り組んでいます。従来は、作業員が獣害防護柵資材や苗木を運ぶ際に、資材を肩に担ぐもしくは背負子に資材を固定して斜面を上って運搬を行っていたため、身体疲労が蓄積し転倒等による怪我の危険を伴っていました。



(人力運搬)

ドローンでの運搬を行うことで身体的疲労がなく、安全性が大幅に向上し労務軽減にも繋がりました。



(ドローン運搬)

操縦技術がまだまだ不慣れである為、効率よくかつ安全に往復することを目指し、操作技術向上を図っています。



地域SDGs活動プラットフォーム ～ドングリ苗作り+しいたけ菌打ち体験～

地域活動やイベントを応援するプラットフォームとして、京丹波町で新たな取り組みがスタートしました。今回その第1回イベントとして当組合で取り組みを行いましたので、ご紹介します。



まずはドングリの苗木作りに取り組んでいただきました。今回はクヌギのドングリをご用意しました。鉢に土を入れ、ドングリをそっと置いたら、上から土と細かく千切った落ち葉を被せて水をやります。うまくいけば1・2週間ほどで芽が出始めます。育てた苗木は町有林の伐採跡地に植栽予定です。



続いて広葉樹材活用としてしいたけの菌打ちに取り組んでいただきました。専用のドリルで原木に穴を開け、しいたけの駒菌を金槌で打ち込んでいきます。収穫までに2年かかりますが簡単に栽培出来ますので、最後まで愛情込めて面倒を見ていただきます。

4/20(土)には「薪作り+クロモジ茶作り」を実施予定ですので、是非「京丹波町SDGs」で検索してみてください。